### 【臨床・研究】

# Xp11 転座腎細胞癌(RCC)と鑑別を要した若年性 RCC の 1 例

なお直 浩1) 真実子2) 井 要 出 地 浜 ひら 平 功 郎1) 気 出 和 もと 本 博 本 安 田 まる丸 がわ ||| 理留敬2) Ш 井

キーワード: 若年, 腎細胞癌, Xp11 転座

## 要 旨

症例は16歳、男子。2009年4月に急性虫垂炎に対し近医で緊急手術が施行されたが、同時に術前CTで左腎上極に5cm大の腫瘤を認めた。術後に施行された経皮的腎生検で腎細胞癌(以下RCCと略す)と診断され、当科へ紹介となり同年8月に左腎切半術を施行した。病理組織結果は乳頭状構造とclear cellの混在したRCCであり、若年であったことも考慮しXp11 転座RCCの可能性を考えたが、TFE3免疫染色が陰性であったためconventionalRCCと診断した。術後経過は良好で、術後7ヵ月目の現在も再発を認めず、外来通院中である。

#### 緒 言

小児や若年者に発症する RCC は稀な疾患であるが<sup>1)</sup>,近年その発生と Xp11 転座との関連が注目されている<sup>2,3)</sup>。今回我々は、病理組織学的特徴と発症年齢から Xp11 転座 RCC の鑑別を要した、若年性 RCC の 1 例を経験したので報告する。

#### Yozo MITSUI et al.

 島根大学泌尿器科 2) 島根大学器官病理部 連絡先:〒693-8501 出雲市塩冶町89-1

#### 症 例

患者:16歳,男子

家族歴:特記事項無し 既往歴:特記事項無し

現病歴:2009年4月急性虫垂炎のため,近医にて緊急手術を施行。術前に施行した造影 CT 検査にて,左腎上極に5 cm 大の腫瘍を認め,術後同院 泌尿器科へ紹介となった。画像所見からは良,悪性の鑑別が困難であり,超音波ガイド下経皮的腎生検によって RCC と診断された。その後 RCC